**拘束種別:** やむを得ず、車いすやベッドに拘束帯等で拘束する

実施月: 令和4年7月の実施状況

74	東時間:オ <del> </del>	N 00 /	(16)	\ <u>\</u>			77 21 71	,, D	1	<u> </u>	H.) [H] [	1		1111/2		HJ	-, , ,	1 6011	-,//	<u> </u>		_	U F-) [F-,			>1 \ \ \ \ \ \		1 - 1   - 1					
No.	実施日	1 [	∄ 2	目	3 日	4日	5 E	6 ⊟	7	日 8 日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																																
1	取組状況	る中熟居あく情リつ	Q 垂室っ宴豊一い定り目し内たてかずて会	俎をてこがハな一話み覚い出、た様会が	をまた入目。子議あ継す。りを日かてり	様こ夜す覚中見身、しと間るまはら体今	てな、こす笑れ拘月いく他とこ顔で束の	にる、利がとがいの行こ就。朝用何な多る解動と	途ま者度くく。除制でがか良感(に限)	仪取をくにず様ン続け	リンのオースナン組てこ応日がルなみ良とし中見テが	帯をくがたはら一ら一を継寝あた笑れシ、プーは骸でっめ酸落=身会	記りの原本 ト 中いた、がちン体 のが異多着の拘	様。、食くい取束々朝職等表でりの	に方員に情い組解寝起がは豊るみ除いるす至か。を	豆を上至い とこりてぐらなコ継向	るに聞眠をが食中で取入こし出、等の本	拘りるえてし職に様人の東組とていて員は子の提帯み、くる幅が至も村第	メースも歯が至ら様を一る。んすら安子継人が時でぐず定を	続で、々いに。し共中話ほ、る対笑て有	でしどタ様応顔いしあてなン子しがる、	るいくスがた多。。るしのあたく寮	所属でなるの 団が入類 異日議	園の	会議(	こて身	<b>}</b> 体抗	東は	終了と	±なる	0		
	拘束時間	D		)	D	D	D	D	D	) D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
2	取組状況	伏テ閉短椅	さにた ーティ 実間(	よレるの過るがこ解ご	こ捻と除す	がれる。	りカ カ 。 返 し	せ導一のたし、尿テたりな	カ ルが め、 車	ての起いさが高	うつ伏りの状態ではいる。	解せ尿塞塞健体除除に力すに康調方後なテるよ面へ注	る一こりにのこテと、影影	とルが適響響がに確切す、	あしさ おじさ 排可全 な	てい 世七に そがてが性配	う際塞染排あつにす症尿る	帯伏導ると管。除解せ尿こな理健を	こったった気になったがた気に	こテる過付慮とル。あけし	がが過りるなが過去、よが	る い に 尿 い 医 師 よ う 指 え	そで はない でいま とう で 閉感 りが	テー によ 性が	テルが り適け 高い。	が捻じ 辺な排 。日中	<sup>じれ、</sup> 非泄管 <sup>ロ</sup> 、車	閉塞 理が 椅子	するこ できす で過こ	ことが ずに体 ごす時	あった 調を		]塞 J能

No.	実施日	1 E	2日	3日	4	日 5	日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日3	1日
	拘束時間																																
3		認し	、の状がとと	ら拘す し、記	友時 沈床	間の 前の	削洞 支援	域に努 爰を強	るめ	認しるこ	なが とと	ら拘す し、s	5時間 沈床前	の削 の支	安全を減援を強います。	子め 蛍化	認しるこ	ながら ととし	5 拘束 ン、就	く観察により ( ) 期間(	の削 の支担	咸に努 爰を強	が強化	まりまた	摂れな なら聞	ょくな 以床し ていて	でる。 ノて体 「も落	本人でを休る	の様∃ めても	子を見 らう	て疲れ	食事も れてい とした たため	る。
	拘束時間	Α							C	В		В					В																
4	取組状況	床支 2,3, 1人 ベル	え援を , 4, 6E 夜勤て <sub>ン</sub> トを	する耳  が未 !も入 ! !	又り 実施 眠る こと	組みをできる。	を床及し。	E施。 できた けた 7日	た。 点で は就	床支 9,13 1人 きた り。	援を , 14日 复勤で 。 10日 8日は	する耳 が未 12 まは京 就床	又り組 実施 日はえ 北床支	みを が ま 接 の が よ よ ま が よ よ よ よ ま の よ れ よ に れ ま の に も に と に も る に る る に る 。 る る る る 。 る 。 る る る る 。 る 。 る 。 る る る る 。 る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る る る 。 。 る 。 る 。 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	せたまでで否たである。	た。 床で あ	開始 た。						除し	22, 2		28, 29				         		末する	
	拘束時間																						В										
5	取組状況	車権の其	寄子の質問の	乗車 <i>t</i> 身体扌	がな 句束	かっ は未	 たた 実旅	 こめ、 も。	J				がなか 対束は			J	で車 ずと	椅子を	を利用 字を受	けられ	椅子る	を利用	世	_	子の勇 未実が		ヾなか	ったフ	ため、	この	期間(	の身体	拘
	拘束時間																																
6	取組状況	車権除き	・ ・ ・使用	ベル I してし	トはいな	、必 い。	要な	ぶ場合	き				・は、 いない		な場合					は、タ		は場合	含を	車椅 ない		ベルト	いは、	必要7	な場合	合を除	き使り	用して	い

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	D	D	Е	Е	Е	Е	Е
7	取組状況	行職ボ者	車 てが を 叩外 で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	る。 守りす と	中ご島り	ルト て をす	を外し るが、 る他和	)、 ズ 利用	行職ボオを	が見 <del>て</del> を下る	る。日 守り遥 ろすくか	中ご自場り	ルト: てい。 をす。	を外し るが、 る他和	ノ、 ズ 川用	毎行職ボ者ト	で見るが見る	る。日 守り過 ろす、	中ご自り	ルトでする	を外し るが、 る他和	、 ズ 川用	毎中ズがあ	ルトる ンを	を外し 下ろす	,、職 <sup>-</sup> 、自	員がり 傷をす	見守り する(t	り過ご b利用	して  者を	いるか	Ĭ.
	拘束時間	A			A											A																
8	取組状況	づき に取	子抑制 ・子切割 ・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション	全に留 むこと	溜意し ∶で、	て抑朝食	制帯角 時、ゟ	解 す食	づき	子抑制 ・安全 り組む 抑制	とこと	ầし で、	て抑制 朝食	制帯解 時、ゟ	解除 7食 こい	車 ず に 時 る 。	、安全 り組む	とに留	意し で、	て抑制 朝食	制帯 時、ゟ	解除 7食	意し	て抑制	訓帯解	除に		組むこ	とで			-
	拘束時間				A	С			C					С																		
9	取組状況	基本い安る。	的に ない や 多	車椅子 が、4 動傾向	子のベ 日・5 引によ	ルト 日は り使	は使月 、情終 用して	月し 者不 てい	が、	・ 8日・ 用の™	13日(	ま多重	加傾向	ていた]あり	こい ベル	ベル	トは何	使用し	てい	ない。	,		ベル	トは値	使用し	てい	ない。	,				

**拘束種別:** やむを得ず、手指の機能を制限するためにミトン型の手袋を付ける

実施月: 令和4年7月の実施状況

No	).	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘	向東時間	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
1	取	2組状況	中帯( 短時[ る。	は解除 間での を間 ること	余後に D解除 帯は入	自傷 を繰 、眠後	み行りに間確	もあり してし トンを	リ、 ト と解	サ施してりど食いしてもつ、べ	テて、らぶ衝る一いおうす動最	ノるやのロコなって手のかッ動	で指時らプき傷のを間出やがか	取使、し皿見らりつ自たをら意	的組た身も放れ識。にみ活でのるたがってき重食をなって	きめきをは、実とべ握・、	ミ帯あてでに状トはりい睡自況	情まる。がする	がまってなと	着たミりもい解ト、あ	て除ったり	るとない。	もっとと眠	もあな!	り、fi がり <sup>3</sup> してし	除解やい解のない。	ンた際 へ。そ 夜間	に目で のた 就寝	や陰部 め、短 後に <b>解</b>	『を掻 『時間 『除す	き壊での	す行為 解除を	為に E繰
	拘	向東時間	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
2	2. 取	文組状況	き壊る。( るし い。(	し、b 別り ており 傷のも	出血す 降同 リ、傷	るこ じ個所 の治 配慮	レが	続いて  傷を 良く <i>t</i>	こい 繰り よ	き、さる。た	察過係 皮膚和 ながら	易とな 斗受診 う、本	るこ を行 人の	とが い、 行動	古続傷観っている。	に		続いて 見守り	ている リを行		の状態	態に酉	記慮 引の	る。	皮膚和 保護	指を は は な が	:相談	しなが	がら治	療を	行って	ている	, )

No	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	D	D	С	С	С	С	С	D	D	С	С	С	С	С	С	С	С	D	D	С	С	С	С	D	С	С	С	D	С	D	D
3	取組状況	トン 個別 の好	を使りたません	用せす 堂内 <i>の</i> 楽を摂	*に過 )静か 【供し	の時 に い な は 時 間	。日中 境で本 緒の3	中、 本人 安定	人解スにや	好す一奮を記る	音楽を 寺間を で他利	·提供 ) 別用たが があ	なしてとはりる環、い過掴、。	ミトン るごすかか みかか	/を <b>持間</b> り	緒の! の時 スペ・ の人・	安定 を 間を 言 一 ス の れ	を図り ひけて る る る る も る も る も て る も て る も て る も る も	一音ないすかを楽がる際り使	ら ミ 寮 興 烈 が 激	トン角 内の きい ほい ほ	解 は 有 明 ま ほ に	に過 本人 を図	ごし <sup>-</sup> が好す る。:	ている ひ音楽	。日 éを提	の時には、一人の時間の中、一人の中、一人の中、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	しが少 ること	)なく :で、	静かな情緒に	な場所 面の多	でで定
	拘束時間																											F	F	F	F	F
4	取組状況																						する	。傷の 型手線 を行し	の保護 きを着 ハ、拘	情用を <b>]</b> 束の	本人が め、ヤ 開始し 状況を	さむを した。	·得ず 同日	左手( 身体)	のみに 句束半	リ定

**拘束種別:** やむを得ず、行動を制限するために介護衣(つなぎ服)を着せる

実施月: 令和4年7月の実施状況

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間		С		С	С					В		A								A			A		В	В	A				
1	取組状況	て人い衣る子かレいがる類がはらで	るほ。を、少ののがど排脱午なト排	が、ナ更ごをハイ世をあ拘るのうに傾しが継り束蝣出とは向り定続	衣々やす衣がイ着の結する類みンし	結びい様をらもつびに午子気れ増つ	方変前もこるえあを更中見す。、る	本て、れ様人イ	て人い増ついがるえあ	るほ。、りてがど本ト、き	が、ナ人イ友であ拘るかレ類いり束蝶らでをる	衣々のの気に	結びインがでする	方変サ定様子のよう	本てもつ減て	て人い増つ	ほどんない	拘るかレ類を	衣結りが気に	結びイ泄するがなる	方変けたませる。	本てもつ減	衣の てい での	異結る排少の対象を	うを、 k人か が定着	本人 らの しつ	がほん	どける レサイ り、オ	が蝶々 ′ンも ズ類を	結び 増え、 気に	に変す 、トイ する様	してレ

**拘束種別:** やむを得ず、支援者が自分の体で利用者を押さえて行動を制限する

実施月: 令和4年7月の実施状況

No	中恢口					•	- ' ''							19日	_			I	17日 1				•					• • •	27 🗆	20 🗆	20 🗆	20 🗆	21 🗆
No.	実施日	<u>'</u>		3 3		4 口	эп	ОП	/ =		9 п	ТОП	111	120	юп	14口	130	ТОП	1/ 🖂   1	ОП	IBD	200	210	22 🗖	23 🗆	24口	20 🗖	20日	210	20口	29 🗖	30 Д	31 D
	拘束時間					Α																											
1	取組状況	がたか入	は、きとみ、ってもなった。	上がいかの	着の認 があれ	ポケ した り、	ット いこ 応援	にしる とかり 職員な	まっつが介	あ環境の企業を	期た整提・る。	居室で や居室 こ努 <i>は</i>	ぎ安心 ぎ以外 うるな	して で楽 ど、	過ごせ しめる 身体指	tる 日 可束	あった 環境 課の	た。 整備 を 提供に ・ 軽源	は身体を 発室室 と	安心し 以外で るなる	してi で楽 ど、	過ごせ しめる 身体指	tる 6日 可束	心し課の	て過ご	ごせる こ努 <i>は</i>	5環境 うるな	整備:	や居室 身体打	官以外	かた。 トで楽 軽止・!	しめる	日
	拘束時間										A		Α				A															A	
2	4×小丘1人ル	り 為	の間に 、 些 終 に る れて	田なっ Eらす	イラ ず関	イラ	など	も粗暴	<b></b> 表行	員へが図	1日は の粗り れずこ は居り	暴行為 エスナ	があ レー	り、トレ	切り替 たため	替え う、 こい	切り	替 <i>え</i> か め、ほ	員への ド図れ 野室施 銀	<b>ずエ</b> ス	スカ	レート	し	れず		カレー					切り <sup>₹</sup> 延錠対ル		
	拘束時間	A					A		A			A	A											A		A							
3	取組状況									た際	11日( に手る 対応(	を抑え	こるこ	とあ	り。扂	室	葉では	のやり	こ至り <sup>-</sup> リとり <sup>-</sup> リ替われ	ウ対 が	ご者 オ	が変わ	つる	22、 を抑	24日I える:	よ、晴ことか	世 ・ あっ	の粗 た。	暴行為	為が見	られ	た際に	手

No.	実施日	1 E	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	拘束時間																														
4	取組状況	安以るけう	一いしでど取でがずて楽、組の、	過し身を大きな とまた	せる環 る日 恵 中 発 に 発 き で た た た た た た た た た た た た た た た た た た	環境整理の提及を をようである。 である。	備や原 供に刻 を は る は る は る は り に り れ り り る し り り り り り り り り り り り り り り り り	居室 努向 イも	安以るけラ	して近いでといれている。	過しませる が は は は は は は は は は は は は は は は は は は	る日東京中発	実境の止あやが施整提・る物る	帯や居 料に減イ破 は は は は は に は に は に は に は に は は は は は	室め向イもな	ホ安以るけラあい  一心外なた感る。	しでどし りょうし でどい いまい しゃく しゃく しょう	過ごせる する を実き ときな	たる環 日東東 東東で 東 発	境整値の止めがある。	構や唇 供に刻え は は は は は る は り に り れ は り に り り り り り り り り り り り り り り り り り	号室 学め向イも	る環める施中	境整値 など、 である	帯や居 - 身体 る。イ	室以 拘束 ライ	外でき 廃止	楽し <i>を</i> ・軽洞 でのナ	うる日 域に向 てきな	課の けた 発声	で過に発えて過ごという。
	拘束時間																														
5	取組状況	安い供図	期にはっています。	は、 面のも かった で身体	居室へ 刃り気付 た気分 本拘束	移動がある	するる 音楽る り替え	と を提 えを	安定に供する	時には た場面 るとし ことで	は、居 面の切 いった	室体 り気 東	は移えのに。	けると 音楽を り替え	提をなっな	こ安い供図いの定っする支	時には た場面 るとし ことで	は、居 面の切 いった ご身体	室へ り気持 気力東	移動 <sup>で</sup> えや <sup>†</sup> の切っ につっ	すると 音楽を り替え	こ を提 えを	室へ供す	移動す るとし	すると いった	:いっ :気分	た場は	面のも り替え	IJり替 こを図	えやるこ	こは、居音楽を提とで身体
	拘束時間																														
6		「	ド持て 廃止	のコミ いた環 る生活 る支援	ミュニ 環境 <i>の</i> 舌環境 爰を行	-ケー )提供 気の提 うっこ	ショとはといるという。	ン」 ど、 見通 身体	「職」「落っている」	員ちできる。	Dコミ へた環 る生活 る支援	ュニ 境の 環境 を行	はケ提のうけ 未一供提こた	ィョン なと見 さと見	/」 ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !		員との き き き き で 持 を そ を そ そ そ そ そ き で き で よ り た り た り た り た り た り た り り り り り り り	Dコミ へた環 る生活 る支援	ミュニ 環境の 話環境 そそ行	ケー: 提供 <sub>-</sub> の提( うこ)	ション 」なと 共と見	ノ」 ご、 見通 身体	ニケ 安心	ーショ できる うこ	ョン」 る生活	「落 環境	ち着し の提	ハた 拱 と 見	環境の 見通し	提供 が持	かって コなる 大 取組 た 取組を

No.	実施日	1	2 E	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 12	日 13日	3 14日	15日	16日	17日 1	8日 19	9日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日 30	日 31日
	拘束時間																													
7	取組状況	「備」は	iにな 「心落 で に で に で に た に た に た に た に た に た に た に	- はるち持療・	りを洞 いて楽 るもの <b>連</b> 携	ばらばしい ない はい	環境想 ためし 供」 し り、	隆 に と 身体	「気( 備」 味関/ もに、	こなる 「落ちを持 を上	も着いるもの	拘減しい も 連に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	す環境 むた 提供 より、	整にと身体	気備以まれ	に「心、廃れる	まも着てと縁いる いっぱん いっぱん まんがい こうき 軽減し	を減ら て楽し も携に 連携に	すむた り 提 り し	環境整 ためと り、身	.興 と k	減ら 関心	す環境 を持っ より、	竟整備 てるも	<b>計」「</b> 5のの	落ち 提供 <sub>-</sub>	着いて   とと	楽し もに	になる むため 、医療 けた取	こ興味 との連
	拘束時間																													
8	拟粗认沉	覚的の影	がに伝 を備」 に向け いら、	なるが、ない、	5法」 身体 且を実	、「 拘束 E施し	生活球 廃止 ている	環境 • 軽 るこ	覚的! の整! 減に!	こ伝 <i>え</i> 備」 <i>を</i> 句けた	える方 など、 と取組	スケジ 法」、 身体拘 lを実施 l間は身	「生活 東廃止 してい	環境 ・軽 るこ	覚的の整減に	に伝えなり	なでのだる なる方 に取組 この期	法」、 身体拘 を実施	「生 ]東原 jして	生活環 廃止・ ている	境軽こ	法」。 軽減	、「 <u>4</u> に向り	生活環 ナた取	環境の X組を	整備.	」など してい	、身	的に伝: 体拘束, とから.	桑止・
	拘束時間				A		A	A							A	Α		A			Α		Α							A
9	取組状況	は帰ず戻たにけ動継、第、つ、、てき続	そう   これ   できる   「一般本で見寮お制する。   であり限る	時し居ルたり居、すな方半な室デだ体室そるかの。	いこくく削卜のこで取戻ンこがで際と、組るクと十過他か他	日かずこう過ればかるかこのが分ご害あ者をと上あとすがると	継が居るれ時あ。の続で室。る間る取望る	中きこま祭をと狙ま。 設行をし	この!			を を を を を を を も を も も も も も も も も も も も	_ で過ご	·L、	は帰ず戻たにけ動継、寮、っ、、てを続	帰後ホて見寮お制す寮に一い守内り限る	寺 / 号 / とり号 / けなち 半な室デだ体室そるかの 頃いにょく制外のこで習	取戻ンこがで際と、組るグと十過他が他みこのが分ご害あ者	トレンドンドラインをと上あとすがると 組か居るれほあ。の	継が居るへ寺あるためで室。る間る取望中きにま際をと組ま	。設行をし	組ずと寮害続からがある。	を継んがあると	売レー 外とかい 中デまで行で	帰ン、ごを他寮グ見す制者	後に の上り 守り 時間 限す・	居室に 居室に 本制が を設こと	戻戻十てがるっ分おあ	帰こてとりるわとがたるそ取方	で さくこ 祭に、 の 別を継

No.	実施日	1	日 2	日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日 18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日 2	9日	30日3	81日
	拘束時間																															
10	取組状況	るの	身体 行動	拘束 制阻	をは行 見判定	うって E会議	ディいない にて、 し承	いた。 、身体	か6月 本拘																							
	拘束時間																															
11	取組状況	落デ	ち着ィン	いて	こ生活 は行っ	していてい	おり、	、ホ <b>-</b> 。	ール	落ちディ	着いで ングに	て生活は行っ	してい	おり、	ホー	-ル	落ち ディン	ーー かがに	て生活しては	ており いない	、 。	-ル	落ちえている	着いで ない。	て生活	もして	おり、	、	ールディ	ィング	ブは行	· つ
	拘束時間																															
12	取組状況	落デ	ち着ィン	いて	こ生活 は行っ	もしていてい	おり、	、ホ- 。	ール	落ちディ	着いて	て生活は行っ	してい	おり、 ない。	・ ・ ・	-ル	落ち ディン	着いて	て生活しては行ってい	こおり いない	、木- 。	-ル	落ちえている	着いてない。	て生活	まして	おり、	、	ールデ	ィン!	ブは行	70

<sub>拘束種別:</sub> やむを得ず、自分の意思で開けることができない居室等に隔離する

実施月: 令和4年7月の実施状況

J. J	(2)(-1)(-1)	I Т Ц С ,	(1007)	<b>\</b>	5 \ /\		/J /I/ /II	1, D	0071	<u>~_                                    </u>	H-1   F1	·/шj 、 О	1 H,				4) \ D	- H-1) [1		8時间	1) /   <b>/</b>   /	<b>,</b>		<u> Д</u>	. THIJ [H].	/IN/IIII \	1 — 2	TH') [F]		_			
No.	実施日	1	3 2	日 3	日	4日	5 ⊟	6 E	1 7 E	8 E	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																																
1	取組状況	らはい環課廃」	トラン ためな 発 発 を を を を を を を を を を を を を を を を を	レニニニードが居やに減し	ィ、室居努	グ室安以るの外な	実錠しでど、	- かすは過し身をかる至ごめ体実	こっせる拘とてる日東	身体で楽し	拘束がある。	ははる日拘施落未環の廃で	施。 整備 提供 上	居室 や居 に努 軽減	で安心 室以タ めるな	ンし トで ぶ	身体ででいます。	拘束に ごせる 身体 排	ま未り る環境 日課 <i>の</i> 句束 Ø	・	居室 や居 に努 軽減	で安心 室以タ めるな	として	施。 で楽	居室	で安心 る日認	いして 果の提	過ご	せる? 努め・	環境圏	Ě備や ヹ、身	東はえ 居室り ・体拘す	<b>认外</b>
	拘束時間												A				Α															В	
2		り、 為	些網	田な. Eら <sup>-</sup>	イラ ず関	イラ	など	され も粗 り替	暴行	き、	対応	職員へ 者を がため	更し	ても	切りを	<b>卦え</b>	き、	対応者	旨を変	の粗を更した。	ても	切りを	<b></b>		は、¤ も切り							者を変いる。	变更
	拘束時間						A					A	A																				
3	取組状況	葉ってし	でのかとでも	さり。 刃り が、!	とり 替わ 5日1	や対 れる は、『	応者よう	∖の判	わる 援し	葉で こと てし	のや で切 いるが	に至りり、 が収ま が収ま	や対 れる 11日	応者ようは、	が変れ に支払 職員へ	っる 爰し Nの	葉で	のやり	りとり り替れ	リそう リやれ、 った。	応者を	が変れ	つる - <del>女</del>	や対	-	が変れ	っるこ	とで			-	やりる 室施	

No.	実施日	1	3 2 日	3日	4	日5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日3	1日
	拘束時間	C	С	С	C	C	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
4	取組状況	暇外止てよ行一	話で・ハリヤケで活滅。夜あ、である。	生動にま間る継続の大鍋の続い	の曽ナ 淀 り幅やた本を な	るをし取人増 開あ日拡、組のや 錠る中げ身み睡す に。	、居り体を実施を収える	室東施兄を	暇外止てよ行一活で・いり中方	動の軽る、でで活演。夜あ、	生活を向た開るの境が というと開る。	幅やた本をない	拡 が 組 の や 錠 に に に に に に に に に に に に に	、居室	区域を では と ここの こうしょう こうしょう こうしょう いっぱい いいい こうしゅう いいい こうしゅう いいい いいい こうしゅう いいい こうしゅう いいい いいい はいいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい い	継暇外止てよ行一な続活で・いり中方い	動の軽る、でで活演。夜あ、	上前に 計を向た開。 続い の増け、鍼 の増け、鍼	幅やた本をない	拡け、組のや錠に	、居国体を服とを服と	と対応した。	幅廃たとを	拡・軽減で、	居室 咸に向 の睡眼 中であ	≧以外 引けた 民状況 5る。	での? :取組。 !によ	舌動を みを り、で	を増や 実施し 友間開	し、」 てい。 錠を <sup>b</sup>	で 生 体 。 や は は 課 は 課 は 課 に は ま は ま は ま は ま は ま は は ま は は は は は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま と は ま と は ま と も と も と も と も と も と も と も と も と も と	東こ
	拘束時間																															
5	取組状況	安い供図	定時に った場 すると	は、 面のり で身 に	居室 切気 たち	束につ	する。 音楽? り替 <i>?</i>	と を提 えを	安い供図	時には た場 ると こと	は、居 面の切 いった	室へ ]り気 :気対束	移動 <sup>†</sup> えや <sup>†</sup> の切 につ <sup>†</sup>	実す音りなる楽替が	: 提 こを な	こ安い供図いの定っする支	時には た場面 るとし ことで	は、居 面の切 いった ご身体	室へ ]り気替 :気対束	移動 <sup>*</sup> えや の切 につ	すると 音楽を り替え	こ を提 えを	室へ供す	移動るとし	するといった	:いっ :気分	た場	面のも り替え	刀り替 えを図	えやるこ	こは、 音楽を とで身 <sup>・</sup>	提
	拘束時間																															
6		「耶 「ジ 安/した	戦員を と着きで持廃 東	のコリのたりる生活る支持	ゴ境環話	- 東ニの境行向 - ホー供提こた	ションはとり	ン」 ど、 見通 身体	「職落 安しが	員ちで持廃止	カコミ いた環 る生活 る支援	ュニ 境境 環境 を行	ケー 提供 <sub>-</sub> の提( うこ	実シ」供と取ったとので組まれるとので組まれた。	/」 : . : . : . ! ! ! ! ! ! !	「落 安心	員ちで持廃し	つった環る生活を支援	ュニ 境境 環境 を行	ケー 提供 の提 うこ	ショとはとり	ノ」 ご、 見通 身体	ニケ 安心	ーシ でき うこ	ョン」 る生活	「落 5環境	ち着しの提供	ハた <sup>斑</sup> 共と見	環境の 見通し	提供」 が持つ	かって いな 支 た 取組	、 援

No.	実施日	1	日 2	日	3日	4 E	3 5	日	6日	7	日 8	8日	9日	10 E	11	日 1	2日	13日	14 ∈	15日	16日	17	7日 18日	∃ 19	日	20日	21日	22日	23日	24 E	25 E	3 26	<b>目</b> 2	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																																					
7	取組状況	「備味も拘	気に 」「 関心 に、	な落を医	身も着てと軽くなっているので	を いて い も し 連 打	咸楽の隽	すむ提よ	環境引 ためし 共」、	整興と体	は がられる 中	「気( 構」 未関/ もに、	になるでで、一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一次を一	るもらちたと	のいるのをても連	減楽の携に	oす3 つむ7 ひ提 によ	実環た供り取には、組まれています。	整 ミ 製 と 身体	「気備」味り	に落った。	るち持寮	身も着てと軽体のいるの減に 「	或らず 終しす かの 携に。	すむほより	環境整 :めに t」と J、身	-興 :と ∤体	減ら 関心	す環: を持 <sup>*</sup> より	境整 てる	備」 もの(	「落か ひ提信	う着 共」	いてとと	「気しに向	むた。 、医:	めに! 療と(	興味 の連
	拘束時間	(	)	С	С				С	0	)	С		С			С	С	С		С		C C	C	;	С	С	С	С	С	C	С		С		С	С	С
8	取組状況	覚の減が行他し粗ず度す組束り	的整に、動者て暴身本よには、に備向他がとほ行体人うよ未様	伝」けのあ関し為拘のにり実々えなた利りれいか東状し落旅な	でるど取用、りと見を況てち。こがの方、維者本た訴ら実をい着日だで		」本実対もなるるし認って舌り、拘施す抑いこ時でしまお動が	「東しるえのとはい、」りのある。	主発で動うかがやる開ち でる活止い動れ、あむが錠日身実寮	環・る的ず施るを、をよ本を内境軽、な、錠。得都促取拘図以	第一年 一番 14 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	覚り域が亍也し狙げ度け狙束り的整に、動者で暴身本よには、	に備向他がとほ行体人うよ未様伝」けのあ関し為拘のにり実々	えなた利りわいが東伏し落施なるど取用、りと見を況てち。こ	方、組者本た訴ら実をい着日だ法身をに人くえれ施確るい中わ	」体実対もなるるし認。て活り、挌旅す抑いこ時でし9 ま動か	別面  「即い」に持て、日うかで「東しるえのとはい、」、りのあ	生廃て衝らかがやる開活止い動れ、あむが錠	・る的ず施るを、を口本を内軽(な、錠。得都促取拘図以	覚の減が行他し粗ず度すよ未様的整に、動者で暴身本より実々	に備向他がとほ行体人う落施な伝」けのあ関し為拘のにち。これ	えなた利りわいが束状し着日だると耳月、りと見を汲てしてれ	でるど取用、りと見を兄てハ中わきの方、組者本た訴ら実をいて活りるス法身をに人くえれ施確るお動がより、「人」(『)	- 本実対もなるるし忍(りのあ、拘施す抑いこ時でし15、充る	「束しるえのとはい、日身実寮生廃て種らかかやる開に付を内	三尾にजうへがらる間はは日内活止い動れ、あむが錠取拘図以環・る的す施るを、を維束り外	環軽の対象を 境軽のな、錠。得都促には、	法軽にずとむ状は施」減対、訴を況取。	、にす他え得を組日「向る者るず確に中	生け衝とこ身認よ活活た動関と体しり動	環取的わが拘、落の境組なりあ束開ち充	のをうたるを淀着実整実動く。実をいを	帯布が 44組布足と図りしあい暴しすおり	なてりの行てより、どい、か為いう、様	視、る本、がるに身々う覚身が人施見がし体な試	体、も錠ら、て拘こ拘他抑しれ都い束だ	東のえてる度るはわ廃利らほ時本。未り	上用れしま人28実・者 いやの日

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日 2	9日30	0日 31日
	拘束時間	A	Α			В		A										В		A		A						В			
9	取組状況	着い 「現 暇支	4日、 ており 物提 援 」 が 援 し か が お	り、身 示によ など、	∤体拘 る伝 身体	東は え方 拘束	未実施 」、 廃止・	ib。 「余 · 軽	てお 物提: 援」	り、身 示によ など、	身体拘 よる伝 身体	]東は え方 <sub>-</sub>	未実 」、 廃止	拖。	īい 「現 艮支	15日、 日 に は 方 東 中。	り落ち 実施。 、「á	5着い 「現 ミ暇支	てお !物提: [援]	り、」 示に。 など、	身体抗 よる伝 、身体	東えぬ	日、決束は	31日に 未実が 」など	ま取刹 色。	且みに 「現物	より落 提示に	喜ち着 こよる	<mark>いて</mark> は る伝えフ	らり、	日、30 身体拘 「余暇 取組を
	拘束時間																														
10	取組状況	出着が就	よ1:25 より。3:す実 まする。	繰り返 , 5日 友中た ことか	すが も起 ごと伝 でき	¥:20 末が早 える た。	には落 uかっ と自ら	落ち た ら再	た。	ぐに耳	<b></b> 京就床	金覚醒に朝き	まで」	良眠で	のる ごき	21日1 てろまり	たので 尿あり 他のE	ミトイ リ。そ 日も夜	レに の後 間良	誘導 「朝まっ 朝まっ 眠しっ	したと で良眼 たため	こ 見。	出て	くるこ	ことた	よく過	ごせる	5。 3		り日も	室から夜間良
	拘束時間																														
11	取組状況	前るをでて関いる。	期午寮く落るり増間後内りち。をや	ので 音集な 話も終い団げ ので ので ので ので で に ので で に ので に に に に に に に に に に に に に	が職解過動楽が員録にある	は見てこじず通	着守いと、	これ   はおまさの	前るをでて関いる。ついわ	午後の 条内りち。 の、 を	りぎ 着集な話を終い団げ	拘参職解過動楽く東加員錠ごをし。	は見り な見てし す し す し す し し す し し こ し こ し こ し こ し こ	<b>音りるが人と</b> しなが人	い制態きのこ	こ前るをでて関との・。つ、いわを	午寮く落るり後の、	つぎ 音長な話も終い団げ動、日で活、	参職解過動楽加員錠ごをし	は 定見 でし す 通 に 、	<b>着</b> りいと、 しくない しくない して して して して して して して して して して して して して	い制態きの	参加 制を て過	は定え つごする 関わり	り、終 ことか	こいる 冬日解 ができ	。寮内 錠して ている	内でも こいる る。	。 、職員 る状態で 集団活動	<b>員の見</b> で、落 動を通	- の守ちじ増動体い人し

No	. 実施日	1 E	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	il C	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	D	С	С	С	С	С	С	С	С	С
1:	2 取組状災	は行まに設で、	- 145 - 145	・寮守内ると外しのほうの	● い制がでをします。	食組十過継いる。	活動学をおける	室中る間ない。際をか	は行まに設け	活、、、、て他見り、	、というでは、それでは、それでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	・い制外組ま	の食組十過継い。	舌動室 継れ時る 間で	で。際をかの	10は行まに設で習時、いたはけ、得	活、、、、て他のである。	・餐守内る:休しり居。のはな体室の	!・************************************	食組十過継いる。	舌動室 継続れる きままる も	室中の際を いまない	昼食また外で	を活動 、見る 過ごで 、他	特別守す者   学室り時と	行い 制が を設	、帰っていてい	察しな とれる いる。	い取 際に 取組	組を は、 l を継	継続中 寮内居 続する	。 諸室 な
	拘束時間	1																														
1:	3 取組状況	前職のえ続なも	期午と搬いてこっ方間後一作るいとての	と緒業。るはいもに選を成る。	に最近により、一個境行時の、今別整い間、不後	活備、が大穏も	と活動いく薬日し動量状不の中の	て資が兄周吏、材増はに用	前職のえ続なも	午と般いてこっ後一作るいとて	こ者美 るはへもに環を床のり。	個境行時の、今別整い間、不後	は活備、が大穏もい未動や活早き時、く	と舌動いく薬ヨし動量状不の中の	、材増はに用	こ前職のえ続なもごの・員運ている減し	午と搬いてこっ後一作るいとて	こ者を るはいもに 等起も減る	個境行時の、別整い間、不	活備、が大穏も、が大穏も	と舌動いく薬ヨし動量状不の中の	、 材増はに用	個別が 休時に	活動の運搬が見なる	ー かと作早こも 身し業いと、 一 体て等状は日	、職を行 に減り	員と <sup>-</sup> い、 <sup>&gt;</sup> 続い <sup>-</sup> 、不	ー緒に 舌動量 ている 隠時薬	環境が増める	整備 <sup>2</sup> えてし の、え 用もえ	や活動 ハる。 大きく <b>成って</b>	資起不い

No	実施日	1	日	2 日	3日	4日	5 E	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31	日
	拘束時間																																
14	取組状況	調落ら旅を対を	間あれる 閉応 けん	できるほうによった。	因のなの薬としと でって	とや施活気ついます。	と他対とを楽き	実え行は居りめの施ら為未室替る安	れままり えまるみ 扉る 弱	調落ら施を対面ちれ。閉応	が着る不めをやるのである。	因のなの薬としといって	とや施活気つつ、錠用分、	はと他対とを楽持未考害応、切しち	えうはまけれる おはま とう おはま こう まま こうれん まま の え え かん え かん え かん え かん え かん	るみの最も	調落ら施を対を面ちれ。閉応増	期が着る不めをやて間要きも穏る併すい	図のなの薬としという。	とや施活気つつ、錠用分、	と他対とを楽る。	え行は居りめるおきない	れは実のえ余の るみ 扉る暇	とみ活る	とれるで	えられ ものの 居室の 并用し	いる落 O、施 O 扉を ノつつ	ち着。 錠対原 閉め。	きのた なは おこと しめる	よさや 実施 た た た た た て 既 気 で 、 で 、 で 、 で 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	、他 。不 分を <sup>t</sup>	要因のは悪行薬を	t ) !
	拘束時間																							В									
15	取組状況	月やれかに関を月た	からのでは、	の保護された経取、	日変がた二会組下中更減がとをみ調	話こう こりにこ動加た本、り行なのえこ人意、つる	のことが図気た回属職に新的持こ数	グル- 員とが よる!	アから日真安でする。でか調課と定っている。	月やわがに関を月か日る見慣わ図以	ら課機られるる降、の会れた機取、	日変がたこ会祖下中更減がとをみ調けて、と作をに	動加た本、り行なのえこ人意、つる	は所、とが図気た回を未属職に新的持こ数継	グ員よしこちとは、ルとるい職ので激ーカイE員安、洞	プか調課と定っし	月やわがに関を月か日る見慣わ図以	期ら課機られるる降引間、の会れた機取、き	日変がよこな且下中更減がとをみ調活につ、と作をに	動加た本、り行なのえこ人意、つる	所、とが図気た回属職に新的持こ数	グ員よしこちとはいとるい職ので激	ーか不ヨ員安,咸プか調課と定7し	に不との不加調と安調	えが見い、意という。	哉しる 最れた 図の 図の 図の のの のの のの のの のの のの のの	かか が、 職員 双組み	わる <sup>†</sup> 本人 <sup>‡</sup> を行	幾会が が新し つったこ	が減日とことで	たこ。 課に 作り、 フ	果と貫気以組のにれ気以組をまた持降を	-

No.	実施日	1 ⊟	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																															
16	取組状況	りら様に積め	の調室もわることを子の見せよの	が扉を いる いる いる いる は いる は いる は いる は いる は いる は	、 はめい は場わ いる面り	た部。でを続いて	、逆に 人の 物 が い し の は の に る に る 。 る 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る る る に る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 る 。 に る に る る る る る る る る る る 。 る 。 る る る る 。 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	自る態を	りら様に積い居子あめ	調室もわるよう	が高く 扉を まれて 日な 関	なめい場わっ、る面り	のた部。でを拘変り屋本成続束	逆にも しの体験 かなり	自る態を	りのほ況てい	の調、ん、る中。な子居ど本と。	が高級記している くいこう にんこう いっこう いっこう しょう しょう いっこう しょう いっこう いっこう いっこう いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい い	なすて緒れるるい面る	こよなに影が、	はあるな状態 な状態 響を展落	るもは 見状えを 薬を	るこ ほと 緒面	とはる んど! に影	あるも 見られ 響を与	のの してい えてて	、居 ない いる	調室。と体を観光を	ぽする 『状況 』られ	ようだん	な状況 本人 <i>の</i> め、服	記は )情
	拘束時間																															
17	取組状況	中に グ)	、の安! リラ・ と見! )期間(	クゼー 守りを	−ショ E実施	ン(た	バック。	7/1	中に グ)	リラク と見る	フゼー 守りを	ショ 実施	め、7 ン( <i>,</i> した。 は未り	バック	7/1	中に グ)	の安気 リラク と見り 期間の	フゼー 守りを	·ショ ·実施	ン(んした。	バック	7/1	ショ	ン(ル		ハグ	() ك	夜間・ 見守り 実施。				<u>ž</u> —
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Ε	Е	Е	Ε	E	Е	Ε	E	Ε	E	Е	Е	Е	E	E	Е	E	Е	Е	Е	E
18	取組状況	行く 員か で取	開錠に事が見れる。	あるた り対応 んでし	:め、 5の上	自立 開錠	課題に した原	は職 号室	行く 員が で取	事がす 見守り	あるた リ対応 しでい	:め、 :の上	者に向 自立記 開錠し 食事の	果題は した居	職 室 可錠	行く 員が で取	開錠の野りの	あるた リ対応 しでし	め、 の上	自立 開錠	課題に	は職 民室	め、	自立詞	課題は	は職員	が見	向かっ 守り対 事中は	応の	上開鈴	淀した	:居
	拘束時間	Е	D																													
19	取組状況	7月4 た。	↓ 4目PM:	ナ <u>ー</u> ト	· - ロッ	・ ク解[	<del></del> 除とな	よっ	施錠	してに	いない	<b>\</b> <sub>0</sub>				施錠	してし	いない	<b>\</b> <sub>0</sub>				施錠	してい	ハない	<b>\</b> °						
	拘束時間			В		С	С	В	С	С	С	С	С	С	D	С	D	E	С	D		D	D	D		D	A		С	С	A	A
20	取組状況	もあ	  不良;           	が、豆									の変重 で対応				日に。可能な						その別で			· 動性	の変	動があ	;り、	可能	な限り	り個

**拘束種別:** やむを得ず、自分で降りられないようにベッド柵(サイドレール)を使用する

実施月: 令和4年7月の実施状況

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間								Е		С								Α	С												
1		伺個をうしチう。使にてェ	と、3 月ない なた。	「変て場」を子更い面起行のこれではほう	さいあるな時はり夜くも	ない頭は安デ	から、 側に1 転落し 全に就	1 点柵 ンそ 沈床	に10んりは頭の、「側	ベケリーベット いたと2 にあるこ	ド垂 点供を 点供付 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	使もよすは付ける	す物強いるい。	の。ん希でら側でまだ望日。に聞たもか日」で	引、いあ外とツ	て「よけ夜がなをのいい落。、、、。外使る	るつ」安15本」し用。解。こと全分人とてを会除したがのしえました。	「ら話こざいり、鈴儀こもなし就けら意る望でつうい、床2「向。し、い	大か頭し点やが19た本て人ら側て柵めあ日の人、	だ大のいをとりはでの行か丈1る使こ、午、状動	点。用う足睡使況制柵18すか側時用を限る。の、し碗半	付の一十十一で認	園の	会議は	cT,	身体	拘束(	は終了	?とな	:る。		

**拘束種別: やむを得ず行う、その他身体拘束に当たる行為(車いすテーブル等)** 

実施月: 令和4年7月の実施状況

No.	実施日	1 [	3 2 日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日3	1日
	拘束時間																															
1	取組状況	着きグな	奇いるチ支夫 子てだェ援実 のいけアに施	る時、 ゆった 一で更す	移動 りごる るこ	のリてと	等とし ライン この 其	でン う り 間	き グチ な支	ている だけら ェア- 援に3	る時、 ゆった で更す	移りごる	のけてとで	人等ラらこでがとイうのき	でンう間	車着きグなは	ている だけり ェアー 援にす	ら時、 りった で 変更す	移りごる	のリてとで	等と ライうの リスカリカ	で ニン 言 間	移動ング	の時 チェフ	等とし アーで	,でき :過ご	るだして	けゆっ	ったり うよう	とりな支	いる時 クラにが で	ニ 更
	拘束時間	D	D	D	D	С	D	С	D	D	D	D	D	С	С	С	С	С	С	D	D	D	D	С	С	D	С	С	С	C	С	С
2	取組状況	るさ際ら可り	奇祭せの能をす子、る姿転性行よべ車動勢落がいう	椅きがや非な 子が保、常が 、常が	こるでい高いいます。きすい解	体そずご。除をの、と職の	バよ車転員時間が開	ンなみすれる守	てらな位落見 跳転るをち守	ね落こ保そりる、とてうを	<b>動車がげこう</b> き椅あ、ない なる身るな	あご。体。りとそが安	、転れ下全解に ない これ	<b>椅し外方配時</b> 子そにに慮間	こか うに 座り 、	車できすテ能をて椅全がる一性防い	身あ可テが止るる能ルあし	ドウ 転割 を ・ 転が 転動 を ・ である。 見	ドやいな守る車。どり	せる。格子を発行した。	ような転換にいいます。	i動 記倒 可 致 養我	にりあ転	らげ、「本と、	ずり 車椅子 人の動	落たでに怪	そう! 身体! 我に	になる をバウ 、カラ	。ま フンド テーテ べる	た、i させ ルの	臀両る抜がい部足こ管高くををとやい。	振 が 、